

廃食用油の地域エネルギー化促進のための取り組みと新用途開発

いわてバイオディーゼル燃料ネットワーク

〒020-0133 岩手県盛岡市青山4-9-1
☎019-647-6996

私達の廃食用油の燃料利用は、震災時に救援物資良輸送燃料として活躍し、社会的認知を得る事ができました。この廃食用油の燃料利用をさらに進めるために、バイオディーゼルの品質向上と新用途開発の為の取り組みを進めています。具体的には回収先毎の廃食用油の品質を調査し、バイオディーゼルの高品質化の為の油回収のノウハウの蓄積と情報提供を行なっています。また、生協回収の廃食用油を燃料として発電し、米の乾燥試験を行なっています。



とみやソーラーガーデン

富谷電力

〒981-3322 宮城県黒川郡富谷町今泉字鶴巻51番地
☎022-348-6650

富谷電力(株)「とみやソーラーガーデン」の取り組みは、富谷町今泉地区において、出力1200kwの大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を設置し、太陽光発電による再生可能エネルギーの生産と合わせて、町の特産品でもあるブルーベリー約300本を栽培、敷地内のパネルの下などを利用して養蜂事業にも取り組みました。農園併設型の発電所として食・農・エネルギーの地産地消を総合的に考えた環境への取り組みを実現しました。



家畜糞尿を利用したバイオガス発電プラントの開発

土谷特殊農機具製作所

〒080-2472 北海道帯広市西21条北1丁目3-2
☎0155-37-2161 <http://www.tsuchiyanoki.com>

家畜糞尿を利用したバイオガスプラントでは、家畜糞尿を嫌気発酵させてメタンガスを回収し、そのガスをコージェネレーションユニットのエネルギー源として利用し、発電します。バイオガスを利用した発電は、同じ電力を化石燃料を利用して発電した場合より、二酸化炭素排出量が少ないことが知られています。北海道に大量に存在し、コストとエネルギーをかけて処理していた家畜糞尿から、安定して発電することを可能にしました。



たまプラーザ電力プロジェクト

森ノオト

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町818-3
☎045-985-9945 <http://morinooto.jp>

子育て世代の主婦を中心に運営している横浜北部の環境ウェブメディア「森ノオト」のメンバーで、東日本大震災以降続けてきた暮らし目線でのエネルギーシフト活動。お母さん版エネルギー基本計画を作成し政策提言をおこない、独立型ソーラーシステムや子ども向けの風車づくりのワークショップといった「エレキラボ」を積み重ね、メディアで活動を発信してきました。3年続けた活動が広がり、2014年9月には市民電力会社を設立しました。

